



株主の皆様へ

第81期 事業報告

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで



北野建設株式会社

証券コード 1866

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループの第81期事業報告（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）をお届けするにあたり、その概況や主な完成工事等についてご報告申し上げます。

代表取締役会長兼社長 **北野貴裕**



コーポレート
ステートメント

未来を 育てる 人がいる

経営理念

顧客からの信頼を第一義に考え、
高品質・高付加価値なものづくりに徹し、
社会の期待に応え、ともに発展する

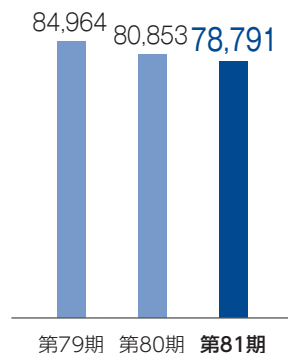
目次

株主の皆様へ	1
営業の概況	3
主な取り組み 工事	5
当社の経営方針に ついて	7
連結計算書類	11
単体計算書類	13
会社概要	14

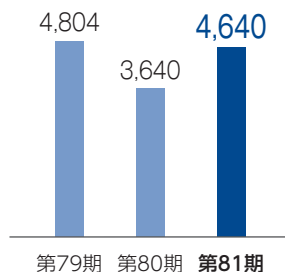
財務ハイライト

(単位：百万円)

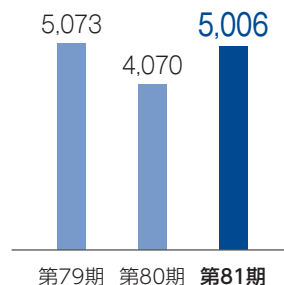
売上高



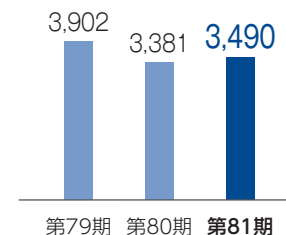
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



当連結会計年度における我が国経済は、米関税政策による景気の下押しを受けつつも、底堅い内需により堅調に推移しております。家計部門では春闘賃上げ率は高い伸びを維持しており、個人消費は物価上昇による下押しを受けつつも底堅さを維持しております。また、企業部門ではソフトウェア投資を中心に、効率化や省人化、DX化等の中長期的な課題解決に向けた設備投資は堅調に推移しております。世界経済におきましては、中東情勢の緊迫化を背景とした物価上昇による個人消費の下振れや、サプライチェーンの混乱の長期化、先行き不透明感の高まりに伴う企業活動および設備投資の抑制などによる下押しの可能性があり、日本経済への影響に十分注意する必要があります。

当社グループが主に事業を展開している建設業界におきましては、政府建設投資、民間建設投資共に底堅く推移しておりますが、労働者不足や労務費の上昇、原材料価格の高騰、為替変動、同業他社との受注競争の激化、地政学的リスクの高まり等、引き続き注視が必要な状況が続いております。また、連結子会社のホテル事業につきましては、

同様の影響を受けつつも堅調に推移しております。

第82期につきましては、引き続き、事業計画達成に向け、安定的な受注及び利益の確保、コスト競争力の強化、人材の計画的な採用・育成に取り組んでおります。加えてDXの推進による生産性の向上、人的資本への投資により、より社会から認められる企業としての存在価値を高めてまいります。株主の皆様のご期待に応えるべく健全な財務体質を堅持し、安定的な配当の実施を継続すること、さらに、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献することが、当社に課された最重要使命であると深く認識し経営努力を続けてまいります。

最後になりましたが、配当金につきましては普通株式1株につき、金30円（株式分割を考慮しない場合は120円）の期末配当を実施させていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

当期 連結業績

売上高

787億91百万円

(前年同期比 2.5%減)

営業利益

46億40百万円

(前年同期比 27.5%増)

経常利益

50億6百万円

(前年同期比 23.0%増)

親会社株主に帰属する当期純利益

34億90百万円

(前年同期比 3.2%増)

当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高787億91百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益46億40百万円（前年同期比27.5%増）、経常利益50億6百万円（前年同期比23.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益34億90百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

当連結会計年度における当社の受注高につきましては、総額で516億17百万円（前年同期比47.8%減）となりました。受注工事の工事別内訳としては、建築工事が約88%、土木工事が約12%であり、発注者別内訳では、官公庁工事が約17%、民間工事が約83%となりました。

当社の完成工事高におきましては、総額では、741億90百万円（前年同期比3.0%減）となりました。完成工事の工事別内訳としては、建築工事が約91%、土木工事が約9%であり、発注者別内訳では、官公庁工事が約15%、民

間工事が約85%となりました。

当社の兼業事業売上高につきましては、13億61百万円（前年同期比13.7%増）となり、最終的な当社の総売上高は755億52百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

次期への繰越工事高としましては、建築工事が648億18百万円（前年同期比24.9%減）、土木工事が51億73百万円（前年同期比16.9%減）となり、全体では699億92百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

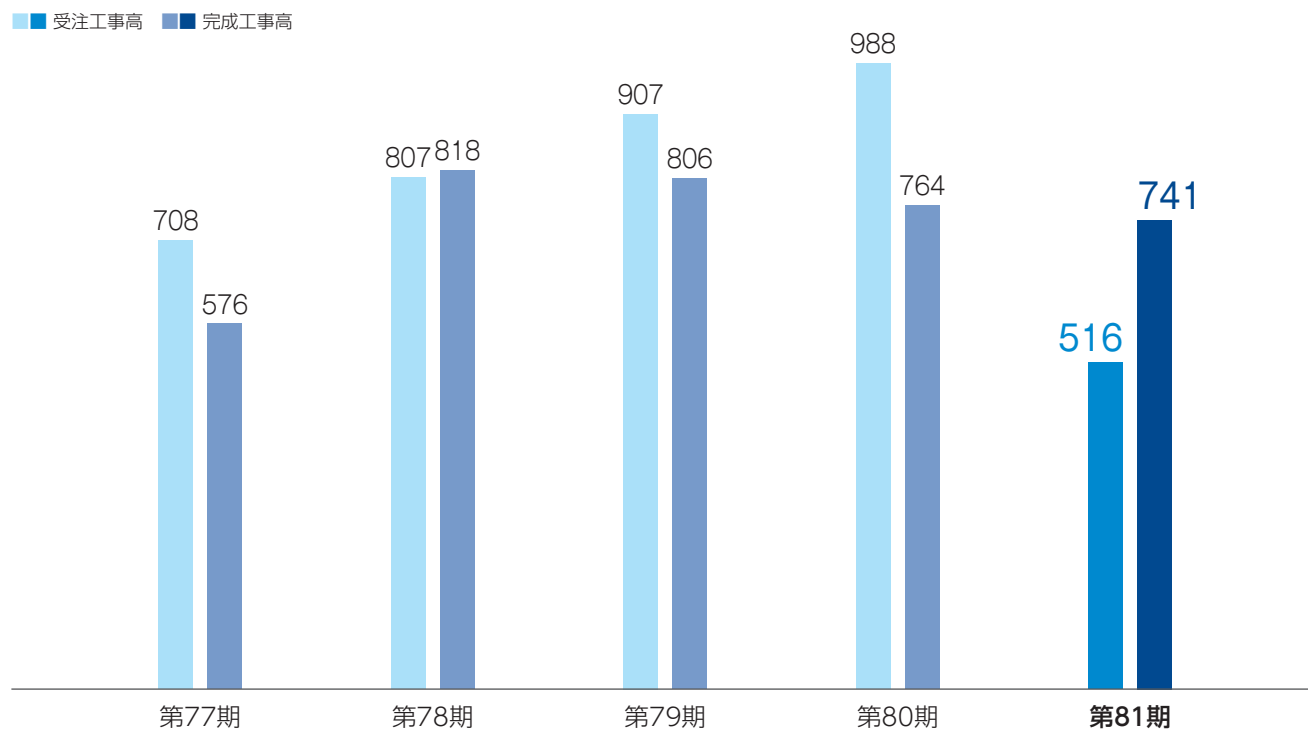
当期の受注工事高及び完成工事高の状況

(単位：百万円)

工事別	前期 繰越工事高	当期 受注工事高	計	当期 完成工事高	次期 繰越工事高
建 築	86,341	45,635	131,977	67,158	64,818
土 木	6,224	5,981	12,206	7,032	5,173
計	92,566	51,617	144,183	74,190	69,992

受注工事高・完成工事高の推移

(単位：億円)



主な取り組み工事



高級アルコール工業株式会社 本社・研究所

設計監理 プラナス株式会社一級建築士事務所
施工地 千葉県成田市
竣工年月 令和7年10月



株式会社アリミノ 東松山第2工場

設計監理 北野建設株式会社一級建築士事務所
施工地 埼玉県比企郡滑川町
竣工年月 令和7年11月



勝隆寺本堂・客殿・庫裡

設計監理 株式会社中村建築研究所
施工地 千葉県富津市
竣工年月 令和8年2月



学校法人西田学園 (仮称) アルファ医療福祉専門学校 新2号館

設計監理 岩崎・オザワ設計共同体
施工地 東京都町田市
竣工年月 令和8年2月



立教小学校新校舎建設及び 東棟改修工事

設計監理 株式会社石本建築事務所
施工地 東京都豊島区
竣工予定年月 令和8年8月



(仮称) 南長野北石堂町計画新築工事 及び自営工事

設計監理 株式会社企画社
施工地 長野県長野市
竣工予定年月 令和9年8月



中央区日本橋区民センター・ 日本橋公会堂大規模改修

設計監理 株式会社ニッテイ建築設計
施工地 東京都中央区
竣工年月 令和8年2月

・土木工事

千曲川上今井遊水地排水樋門工事

施工地 長野県中野市 竣工年月 令和8年3月

大横川護岸耐震補強工事 (その13)

施工地 東京都江東区 竣工年月 令和8年3月

中川護岸耐震補強工事 (その206) その3

施工地 東京都葛飾区 竣工年月 令和8年3月

令和6年度国補ダムメンテナンス (加速化) 工事

施工地 長野県長野市 竣工年月 令和8年3月

当社の経営方針について

更なる企業価値向上のため、人材、DXへの積極的な投資を行っております。また各ステークホルダーに選ばれる企業となるべく環境への配慮、地域への貢献を継続してまいります。ここでは、一部の取り組みについてご紹介いたします。

1. 人材への投資について

建設業においては「人材」への投資がとりわけ重要となります。人手不足が社会課題となっている昨今、経営の最重要課題と捉えており、重点的に対策を行っております。当社における人材投資への取り組みの一部をご紹介いたします。

◇ 人材確保状況について ～従業員数は大幅増加～

671名
(2021年3月末)

+20.5%
▶▶▶▶

809名
(2026年4月末)

2021年よりキャリア採用プロジェクトを開始し、5年間で180名以上の方にご入社いただきました。

現在は従業員数800名を超え、採用競争力を確保しながら新たな体制を整備してまいります。

◇ 賃上げ状況について ～平均年収は業界・長野県内トップクラス～

718万円
(2021年3月末)

+29.3%
▶▶▶▶

929万円
(2026年3月末)

採用競争力強化、物価高対策にいち早く取り組み、県内はもちろんのこと、業界内でもトップクラスの賃金水準を実現しました。(※長野県1,000人以上企業の2025年度平均年収525万円)

◇ 働き方の改善 ～男性育休推進～

3.3%、30日
(2021年度)

取得率 +90%
▶▶▶▶
日数 +133%

93.3%、70.1日
(2025年度)

働き方のフレキシブル化（短日数勤務、定時時刻のスライド、在宅勤務）や男性育児休暇の拡大等に取り組んでおります。引き続き、従業員が多様な働き方を選択できるよう努めてまいります。

2. DXへの投資について

過去3年間で合計19億円超のIT関連投資*を実施

当社ではDXを経営の重要戦略の一つと位置付け、2025年度は7億円を超えるIT関連投資を実施し、特に施工管理業務の変革（建設テック領域）に重点を置いた施策を実行いたしました。当社競争力の一層の強化及び持続的な成長のため引き続きDX投資を推進してまいります。

*投資・経費を含む

◇ 生成AI (K-Brain) 活用による建設現場業務の省力化を推進

当社DX推進プロジェクトの戦略的パートナーである株式会社日立ソリューションズとの協創により、独自の生成AI (K-Brain) を構築、現場業務の省力化に取り組んでおります。

社内外に蓄積された技術ノウハウ・公開資料などを対象に、チャット形式で必要情報を検索・参照できるシステム (K-Brain) の建設現場での利用を開始しました。今後を担う若手への技能継承や現場作業の省力化を実現いたします。



株式会社日立ソリューションズ ホームページより

◇ 多様化する現場人材への対応強化

多様化する現場人材に対応するため、専用ツールにより現場での教育/説明内容を6言語に多言語化したしました。これにより日本語を母語としない協会の従事者の方々にも説明内容が理解しやすい環境を整備いたしました。現場情報等の確実な伝達を図り、安全性向上にも寄与してまいります。

◇ BCPを主眼とした社内システムのクラウドシフト

当社では、最新技術の活用や拡張性の向上、災害・緊急時の対策を目的として、各種システムのクラウドシフトを推進しております。

3. 施工技術力の向上と大型案件対応力の強化

当社はこれまで施工技術の向上に継続的に取り組んでまいりました。その結果、大型案件にも対応可能な体制が整い、請負金額50億円以上の工事については、2015～2020年度の総額約450億円から、2021～2026年度（一部未成）には800億円超へと拡大しております。

こうした対応力の強化は、技術力の向上に加え、生産効率の改善や人材育成、DX投資によるものであり、今後も各種投資を通じて技術力のさらなる向上を図ってまいります。

◇ 生産効率の改善

～完成工事に占める大型工事の金額～

450億円 (10.7%)
(2015～20年度)

+ 350億円
▶▶▶▶
+ 6.8%

800億円 (17.5%)
(2021～26年度)

4. 社会課題に対する取り組みの推進

> SDGsへの取り組み

当社は、これらのマテリアリティに基づき具体的なKPIを設定し、目標達成に向けてグループ丸となって企業活動を推進しています。建設業としての社会的責任を果たしながら、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを着実に推進してまいります。

1. 環境に配慮した事業活動の推進

オフィスでの省エネルギー活動の推進や、お客様への環境負荷の低い設備導入の推奨により、気候変動に対応します。また、リサイクル材の利用や建設廃棄物のリサイクル率向上等に取り組み、環境負荷低減へ貢献します。



2. 人的資本の強化

従業員一人ひとりが適切なワークライフバランスを実現できるよう、柔軟な働き方の整備や長時間労働の防止を実施します。また、従業員のキャリアアップを支えるため、人材育成にも積極的に取り組み、従業員全員がいそいそと働ける環境を整備します。



3. 労働安全衛生の確保

労働安全衛生確保のための現場パトロールや安全指導を実施し、全ての従業員が安全かつ快適に働くことのできる環境を整備します。



4. 品質の確保と技術力の継承

品質管理体制の整備や、研修等を通じた専門性のある人材の育成および当社の持つ技術力の強化やノウハウの伝承により、高いレベルの施工品質を確保・維持します。



5. 文化の継承と地域社会への貢献

伝統文化・芸術の保全活動やスポーツへの協賛活動を通して、広く文化の継承をサポートするとともに、様々な地域の皆様との信頼関係を築きながら地域社会の発展に貢献します。



6. 責任ある企業活動の実施

行動指針や経営方針に則り、コーポレートガバナンスの強化や、コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底に取り組み、お客様やステークホルダーの皆様からの信頼の確保に努めます。



2025年度は国際的な環境非営利団体であるCDPによる質問書に初めて回答し、8段階評価のうち上位から3番目となる「B」スコアを取得しました。「B」スコアは、気候変動リスクを認識し、適切な対策を講じている企業に付与される評価です。

さらに、2025年10月より、当社が所有・運営する「川中嶋太陽光発電所」等で創出された環境価値を活用し、本社ビルを含む複数施設における使用電力を、実質的に再生可能エネルギー100%へと切り替えました。



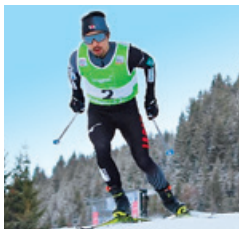
川中嶋太陽光発電所

5. 地域社会への取り組みを通じたプレゼンスの向上

＞ スポーツ振興

ウィンタースポーツが盛んな長野を拠点とする企業として、冬季競技の普及振興に寄与するためスキー部を創設し、今年で55年目を迎えました。また、2023年10月には新たに陸上部を創設し、陸上競技とポブスレー競技の二刀流で活躍できる環境を整えました。

これまでスキー競技やポブスレー競技で数多くの選手を輩出し、冬季オリンピック競技においては1972年札幌大会から今年開催されたミラノ・コルティナ大会まで、15大会連続で選手やコーチを日本代表として派遣しメダルの獲得や入賞を果たしてきました。今シーズンも選手たちの活躍にご期待ください。



渡部善斗選手
(ノルディック複合)



丸山希選手
(ジャンプ)



松岡晃輝選手
(走り幅跳び・ポブスレー)



石川優選手
(短距離・ポブスレー)

＞ 地域密着型経営

企業市民として地域社会の発展に多角的に貢献することを目指し活動しております。長野市内で運営する北野文芸座では、本格的な伝統芸能上演の場として様々な演目を提供し地域の皆様に愛されてまいりました。また、人々が集う祭典やスポーツイベントにも参画しています。コミュニティが活性化され、そこで住まう人々の幸福度が向上し、持続可能な豊かさを実現していけるよう、これからも支援を続けてまいります。



善光寺表参道沿いにある
北野文芸座



小布施見にマラソン
(給水ボランティア)



湯島天満宮 信濃分社 例大祭
(神輿渡御)



長野びんずる祭り
(踊り隊として参加)

連結計算書類

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (令和7年3月31日現在)	当期 (令和8年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	41,519	43,748
現金及び預金	18,750	13,239
受取手形・完成工事未収入金等	14,504	20,704
有価証券	22	—
販売用不動産	3,289	3,405
未成工事支出金	123	92
開発事業等支出金	3,285	4,406
その他の棚卸資産	135	188
その他	1,423	1,724
貸倒引当金	△ 16	△ 12
固定資産	34,070	36,581
有形固定資産	19,491	18,986
建物及び構築物	17,684	17,193
機械装置及び運搬具	3,306	3,095
工具、器具及び備品	3,287	3,174
コース勘定	784	784
土地	10,073	7,074
建設仮勘定	3	3,042
その他	94	94
減価償却累計額	△ 15,743	△ 15,472
無形固定資産	638	741
その他	638	741
投資その他の資産	13,941	16,854
投資有価証券	10,954	13,349
長期貸付金	35	48
退職給付に係る資産	1,010	1,473
繰延税金資産	18	16
その他	1,949	1,993
貸倒引当金	△ 27	△ 27
資産合計	75,589	80,330

科目	前期 (令和7年3月31日現在)	当期 (令和8年3月31日現在)
[負債の部]		
流動負債	23,968	23,183
支払手形・工事未払金等	9,444	8,480
電子記録債務	3,831	4,466
未払法人税等	342	1,594
未成工事受入金	6,769	4,505
開発事業等受入金	1,129	1,125
賞与引当金	536	748
役員賞与引当金	71	66
完成工事補償引当金	305	555
その他	1,538	1,640
固定負債	4,391	4,996
退職給付に係る負債	73	81
会員預託金	1,619	1,576
繰延税金負債	2,422	2,831
その他	276	506
負債合計	28,360	28,180
[純資産の部]		
株主資本	40,331	43,182
資本金	9,116	9,116
資本剰余金	653	659
利益剰余金	31,458	34,280
自己株式	△ 897	△ 873
その他の包括利益累計額	6,329	8,391
その他有価証券評価差額金	5,168	6,918
繰延ヘッジ損益	△ 8	4
為替換算調整勘定	1,122	1,115
退職給付に係る調整累計額	46	353
非支配株主持分	568	576
純資産合計	47,229	52,150
負債純資産合計	75,589	80,330

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
売上高	80,853	78,791
売上原価	70,950	67,101
売上総利益	9,903	11,690
販売費及び一般管理費	6,262	7,049
営業利益	3,640	4,640
営業外収益	504	447
営業外費用	74	81
経常利益	4,070	5,006
特別利益	155	484
特別損失	21	631
税金等調整前当期純利益	4,205	4,859
法人税、住民税及び事業税	856	1,884
法人税等調整額	△ 44	△ 524
当期純利益	3,392	3,499
非支配株主に帰属する当期純利益	11	9
親会社株主に帰属する当期純利益	3,381	3,490

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
当期純利益	3,392	3,499
その他の包括利益	1,371	2,063
その他有価証券評価差額金	1,060	1,750
繰延ヘッジ損益	△ 8	13
為替換算調整勘定	366	△ 7
退職給付に係る調整額	△ 46	306
包括利益	4,763	5,563
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	4,750	5,553
非支配株主に係る包括利益	12	9

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)	(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,169	△ 4,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 849	△ 1,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,235	△ 682
現金及び現金同等物に係る換算差額	413	△ 14
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△ 7,841	△ 6,142
現金及び現金同等物の期首残高	25,868	18,027
現金及び現金同等物の期末残高	18,027	11,884

連結株主資本等変動計算書

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	9,116	653	31,458	△897	40,331	5,168	△8	1,122	46	6,329	568	47,229
当期変動額												
剰余金の配当	—	—	△668	—	△668	—	—	—	—	—	—	△668
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	3,490	—	3,490	—	—	—	—	—	—	3,490
自己株式の取得	—	—	—	△5	△5	—	—	—	—	—	—	△5
自己株式の処分	—	5	—	29	35	—	—	—	—	—	—	35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	1,750	13	△7	306	2,062	7	2,070
当期変動額合計	—	5	2,822	23	2,851	1,750	13	△7	306	2,062	7	4,921
当期末残高	9,116	659	34,280	△873	43,182	6,918	4	1,115	353	8,391	576	52,150

単体計算書類

貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(令和7年3月31日現在)	(令和8年3月31日現在)
〔資産の部〕		
流動資産	34,773	38,317
固定資産	33,012	33,494
有形固定資産	15,954	15,635
無形固定資産	533	646
投資その他の資産	16,524	17,212
資産合計	67,786	71,811
〔負債の部〕		
流動負債	23,409	22,543
固定負債	2,288	2,749
負債合計	25,697	25,293
〔純資産の部〕		
株主資本	36,932	39,604
資本金	9,116	9,116
資本剰余金	—	5
利益剰余金	28,713	31,355
自己株式	△ 897	△ 873
評価・換算差額等	5,155	6,914
純資産合計	42,088	46,518
負債純資産合計	67,786	71,811

損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)	(自令和7年4月1日 至令和8年3月31日)
売上高	77,658	75,552
売上原価	69,291	65,380
売上総利益	8,366	10,171
販売費及び一般管理費	5,094	5,905
営業利益	3,271	4,266
営業外収益	346	562
営業外費用	83	87
経常利益	3,534	4,740
特別利益	155	476
特別損失	0	631
税引前当期純利益	3,690	4,586
法人税、住民税及び事業税	825	1,839
法人税等調整額	△ 22	△ 563
当期純利益	2,887	3,310

会社概要 (令和8年3月31日時点)

社名 北野建設株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 北野貴裕
設立 昭和21(1946)年8月
資本金 91億1,649万円
従業員数 単体745名 連結1,143名
株式 東京証券取引所(スタンダード市場)

主な事業内容

- (1) 国内外の建設工事の企画・設計・施工管理・コンサルティング
- (2) 地域開発、都市開発、リゾート開発事業
- (3) 再生可能エネルギー事業
- (4) ホテル、劇場、スポーツ施設などの経営

> 役員

代表取締役会長兼社長	北野 貴裕
取締役	山崎 義勝
取締役	久保 聡
取締役	秋田 孝之
取締役(社外)	宇田 好文
取締役(社外)	矢崎 ふみ子
常任(常勤)監査役	滝沢 登
監査役(社外)	尾和 慶禰
監査役(社外)	西田 孝
監査役(社外)	酒井 光一

執行役員社長(上席執行役員)	北野 貴裕
専務執行役員(上席執行役員)	山崎 義勝
執行役員(上席執行役員)	久保 聡
執行役員(上席執行役員)	秋田 孝之
常務執行役員	南澤 光弥
執行役員	倉科 和喜
執行役員	守安 修一
執行役員	丸山 讓
執行役員	塩沢 豪
執行役員	坂本 千尋
執行役員	野村 健一
執行役員	竹内 俊樹
執行役員	清水 正剛
執行役員	長井 倫
執行役員	松本 吉生

> 拠点

●本社
本社
長野県長野市県町524 ☎026(233)5111
東京本社
東京都中央区銀座1丁目9番2号 ☎03(3562)2331
丸の内分室
東京都千代田区丸の内2丁目2番3号 丸の内仲通りビル5F

●支店
大阪支店
松本支店

●営業所
上田営業所
軽井沢営業所
佐久営業所
白馬営業所
上越営業所
富山営業所
飯田営業所
諏訪営業所
安曇野営業所
横浜営業所
埼玉営業所
千葉営業所

●海外事業所
ソロモン事務所

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 及び特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (スタンダード市場)
公告の方法	電子公告により行う。 但し、やむを得ない事由により電子公告 をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する。 公告掲載の当社のWEBサイト https://www.kitano.co.jp

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

